



# 学校だより

平成 30 年度 10 月号

文教大学附属小学校

<https://www.bunkyo.ac.jp/bkshogak/>



## 本物に触れる！仲間と語る！ 心が動く！心が育つ！

～尾瀬自然学校が子どもにもたらす力～

校長 島野 歩

収穫の秋！ 店先にならぶブドウや梨、柿、栗・・・たくさんの恵みに秋の豊かさを感じます。1学期に開いた「たねやさん」で小さな種を持ち帰った子どもたちからも、「二十日だいこんできました」「5粒の風船かずらの種がこんなにたくさんの種に！」と秋の実りの報告がありました。うれしい声です。実りを迎えるまでは、お世話さぞや大変だったことでしょう。子どもたちの心の種もひとつ実りの実感です。



さて、9月5日6日7日と二泊三日で、全校あげての尾瀬自然学校に出かけてきました。心配していた台風も奇跡的に通り過ぎ、3日間とも気持ちの良い秋晴れに恵まれました。今回、尾瀬自然学校を通して、「本物に出会う」「仲間とふれあい語る」「やりとげる」・・・感じ方や観点はそれぞれでも、一人一人大きな力をつけて帰ってきたことを感じています。

### 本物に触れる！

本物に触れると心が揺さぶられます。感動します。子どもたちの可能性を広げるためには、子どもたちの「知りたい」を無意識にかきたてる感動体験・目がきらきらする体験が必要です。ニジマスつかみ、尾瀬ヶ原ハイキング、リンゴがりはまさにその本物体験でした。

### 仲間と語る！

学校は小さな社会。人間関係習得の場でもあります。自分や家族とは違ういろいろな人に出会い、いろいろな考え方に触れ、強調していくことを学んでいきます。一方でいろいろな人がいる場で自分の考えを言ったり表現したりすることは勇気のいることです。だからこそ心のやわらかい今、他者の中でも自分を表現していく勇気を子どもたちは学び身につけていきます。この3日間は、きっと勇気の連続の日々。大きな成長です！

### やりとげる！

今回の尾瀬ヶ原への道は、かなり厳しいものでした。朝9時半に宿を出で、夕方4時にもどってくるまでの長い行程！しかしながら、子どもたちは皆頑張りました。歩きとげました。だからこそその達成感です。

子どもたちの底力を見せてもらった3日間！  
つけてきた力を今後につなげていきます。

# 富士自然学校 つながる心 生まれる

1年生から6年生まで全児童・全教職員  
学校を挙げて宿泊する「富士自然学校」  
「尾瀬自然学校」は、本校にとって、  
心と心をつなげ、大きな絆を生み出す  
大切な行事です。

飯盒炊爨  
にチャレ  
ンジ!



土曜日に漢字検定の練習をしていたときのことで。新しく「具」という漢字がでてきたとき、「ぼく、これ読めるよ。」と言うので、「うん。カレーでいえば、にんじんとかが具だよ。」「ママが教えたんだっけ?」と聞いたら、富士自然学校で同じ班だった5年生の人が教えてくれたとのことでした。「具」のことを教えてもらうなんて、富士自然学校ならではのなあと思ひ、非日常の「縦割り班」が一人っ子の我が息子にとっては、「言葉、行動、他」いろいろ印象深く意義のあるものになっていることを、あらためて感じた週末でした。

彼が高学年になったとき、今まで学んできた文教大学附属小学校の先輩方のようにふるまえるようになってほしいです。毎年、全校児童を連れて行ってくださる先生方、本当に大変だと思います。ありがとうございます。

低学年のお子様の保護者の方から、嬉しいお手紙をいただきました。

(ご許可いただき掲載いたします。) 素敵なエピソードを教えていただきありがとうございます。

1年生が  
富士自然学校の  
思い出を  
俳句に  
しました。  
お兄さん、お姉さんへの「ありがとう!」であふれています。

